

(お知らせ) ホームページが公開されました。

<http://homepage2.nifty.com/efa-japan>

最新の情報ニュースはブログで随時更新しています。

http://efa-japan.air-nifty.com/efa_japan/

(今後、エファ通信は簡潔に情報をお伝えします。詳細はホームページ、ブログをご参照ください。)

主な動き 1. パンフレットが完成

2. カンボジアスタディーツアー エファ事業地も訪問 関東甲地連
3. ラオス・リンサン村へもツアー ‘農’ネットが企画
4. ベトナム「乳幼児教育」事業 中間報告
4. 機関紙「じちろう」に紹介されました。

(事務局より) 広報活動にご理解を。

パンフレットが完成

エファの団体紹介パンフレットが完成しました。A4 版二つ折のコンパクトサイズです。ご連絡いただければ必要部数をお送りいたします。ご活用ください。

カンボジアスタディーツアー 関東甲地連

自治労関東甲地連がカンボジアスタディーツアーを企画、15人が参加し、11月28日から7日間の予定で幼児教育、農村開発の現場を訪問する。訪問地には、エファが CYR と共同で取り組んでいるカンダール州の幼稚園も含まれ、エファの事業地で受け入れる初めてのツアーとなる。現状を見ていただき、将来に向けた率直なご意見を伺いたいとエファでは考えている。

ラオス・リンサン村へもスタディーツアー ‘農’ネットが企画

ラオスでの「アジア子どもの家」事業と同時にはじまった農村開発事業訪問のため、スタディーツアーが派遣される。事業の中心を担った自治体‘農’ネットワークが企画したもので、専門家として岡山大学農学部の黒田教授ら約10名が参加する予定。リンサン村はヴィエンチャン市近郊にあり、これまで農業用水路の設置などを村人と取組んでおり、今後の活動について意見交換することが目的。現地との連絡調整などでエファに協力要請があった。現地の状況、ニーズなどを検討した上、エファとして協力可能性を検討することになっている。

(リンサン村では、この他自治労大阪府本部が小学校改築や交流活動を実施、阿倍野支部でも中学校改修などを行った村です)

ベトナム「乳幼児教育」事業中間報告(ブログに Up しています)

ベトナム北部のイエンバイ省で乳幼児教育事業をエファジャパンと実施しているセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)のベトナム代表・藤原純子さんが、11月12日、エファに来局した。ベトナムでは、子どもの就学率向上のため就学前教育の重要性が指摘されている。5歳までの子どもを対象に栄養改善や保護者の啓発を目的としたセミナー、幼稚園への支援が事業の中心となっている。エファでは12月に現地訪問し、SCJベトナム事務所と今後の方針について協議する予定。

(事務局より)広報活動にご理解を。

パンフレットが完成したので関係者にお配りしています。快く招き入れてくださる方もある一方、新 NGO のつらいところで、なかなか「エファ」を理解していただけないこともあります。受付で断られたり、訪問販売と間違えられたり。もっともできたばかりの団体ですからそれも当然かもしれません。こうしたことの積み重ねでご理解が深まっていくのでしょう。みなさまにも「エファ」の広報活動に何卒ご理解、ご協力をいただければ幸いです。(吉川)

*お詫び 先週お送りした「エファジャパン(Efa Japan)通信 No3」が容量が重く、受信する皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫びいたします。

「エファジャパン(Efa Japan)通信 No4」

エファジャパン EfaJapan, Empowerment for All

発行人 吉川健治

tel: 03-3263-0337(直通) email:efa-japan@mbn.nifty.com